

観光客にもアピールできる第四地区の施設（店）

すき亭(妻科)

昭和40年初頭、長野県北部の奥信濃の畜産家たちが研究と試行錯誤を繰り返した結果、着目したのが「りんご」だったのです。りんごを牛の餌に加えると、良質な霜降り肉が生産されることを発見しました。そして昭和47年に畜産研究会のメンバーのひとり、すき亭初代社長の掛川幹夫は、この日のためにと全国から十数年かけて銘木を集め、長野県庁に近い、旭山のふもとに建坪220坪の贅を尽くした店を開店させました。以来、県内外から多くのファンを集める牛肉料理専門店として営業しています。



すき亭の基本情報

住 所 妻科112-1
電 話 0120-548-029



ホテル国際21(県町)

1970年に総合結婚式場「長野国際会館」として開業し、その後ホテル棟を増設して総合ホテルへと転換しました。長野オリンピックを控えた1997年には、当時長野市内では最高層のタワー棟を新築し、五輪期間中はIOCの本部ホテルの役割を担った国内でも希少な経歴を持つホテルです。館内に6つのレストランとホテルには珍しい岩盤浴の施設も備えています。



ホテル国際21の基本情報

住 所 県町576
電 話 234-1111



犀北館ホテル(県町)

1890年(明治23年)創業の市内、県内はもとより、国内でも有数の老舗ホテル(前身は信州中野の「松田屋」で文政10年《1827年》の書物に記載があることから、1827年以前の創業と思われる)。ホテル内の随所に東郷青児、中川紀元らの美術品が現存しており、館内には5つのレストラン、バーを備え、天皇陛下が来長した折にご宿泊することでも知られています。



犀北館ホテル

の基本情報

東郷 平八郎元帥(1848～1934)が来館した折に書かれた書のある客間「静華堂」

住所 県町528-1
電話 235-3333

うるおい館(妻科)

JR長野駅から徒歩30分、長野県庁から徒歩5分という市街地にありながら、裾花川の瀬音と旭山の白い岩肌を目の前にする場所に位置する日帰り入浴もできる宿泊施設です。市街地に近接していながら、源泉かけ流しの天然温泉です。



うるおい館の基本情報

住所 妻科98
電話 026-237-4126
営業時間 10:00～23:00 朝風呂 6:00～9:00

第四地区は長野県の政治の 中心地でもあるのです

長野県庁(妻科)

明治3年(1871年)、中野県を長野県と改称し、県庁を長野村(現在の第一地区付近)に移転しました。明治9年(1877年)に筑摩県を合併し、今の長野県が誕生しました。その当時から、県庁を長野市に置くか、松本市に置くかの分県(県

昭和42年(1967年)
落成の現県庁



大正3年(1913年)に建てられた旧県
会議事堂(現在の県議会会館敷地)

庁移転)論が発生していましたが、昭和23年(1948年)春の県議会で中南信地区分離が議題となり、中南信の議員と東北信の議員との間で紛糾し、議会は麻痺しました。ここで有名な逸話ですが、どこからともなく信濃の国の歌声が沸き起こり、南北の議員も涙ながら合唱し、分県論は霧散したということです。

その後、昭和42年(1967年)に現県庁舎が落成し、第四地区は名実ともに長野県の中枢地として今日に至っています。



長野県知事公舎(県町)

左の上の写真は現在の県知事公舎です。もともとは副知事公舎だったもので、左下が旧県知事公舎です。旧知事公舎は老朽化のため、平成16年(2006年)、解体され上水内郡小川村に移築されました。

知事公舎があつた場所は現在、駐車場になっています。



第四地区は文化の薫りが漂う 気品ある地域です



写真左／ギャラリー・外観
下左／西後町
下右／新田町の屋台

後町屋台ギャラリー（西後町）

旧後町小学校の跡地に平成30年(2018年)、県立大学の学生寮(象山寮)と後町ホールとホールに併設されて完成したのが後町屋台ギャラリーです。ギャラリーがなかった時は、屋台曳行の都度、組み立て・解体をしなければなりませんでした。屋台を組み立てたまま保管できる屋台ギャラリーが完成したため、新田町、西後町などの屋台を持っている町の方々の苦労も軽減されました。

ギャラリーには「新田町」「西後町」「間御所町」が収納されており、近々「東後町」の屋台が収納される予定です。



北野文芸座（西後町）

北野文芸座は日本伝統芸能の振興と地域文化の昂揚を願い、県町に本社がある北野建設によって平成4年(1994年)に善光寺の表参道に建築されました。

東京の歌舞伎座風の外観に、日本瓦を使用した大屋根、そして、曲線が美しい「唐破風」と呼ばれる、銅板葺きの屋根を備えています。尾上梅幸丈の貴重な助言を得て完成しました。客席は385席と、大劇場に比べると小規模なため、演者の息吹が感じられる程。伝統芸能のみならず、音楽や各種公演が開催されています。



北野カルチュラルセンター(西後町)

長野県で初めての私設美術館として大きな役割を果たしてきた北野美術館の分館として、善光寺表参道に建設された、斬新な外観と充実した設備を整える美術館。正式名称は財団法人北野美術館別館 北野カルチュラルセンター。設計はアメリカのデザイナー・J.LEFF による。北野文芸座は日本伝統芸能の振興と地域文化の昂揚を願い、県町に本社がある北野建設によって平成4年(1994年)に善光寺の表参道に建築された。



信濃毎日新聞社(南県町)

信濃毎日新聞は、明治14年(1881年)創刊の長野県の地方新聞。通称「信毎(しんまい)」と呼ばれている。名称に「毎日」という言葉使われているが、毎日新聞社との資本協力関係はなく、前身である「信濃毎日新報」からの由来とされている。創業当初の社屋は旭町にあったが、大正12年(1923年)、第四地区の南県町に県内初となる鉄筋3階建ての社屋が完成し、平成16年(2004年)まで使用された。現在の新社屋は平成16年(2004年)の完成。

現在の発行部数は約44万5千部、県内の購読率は実に57%という高い数値を誇っている。

平成16年までの旧社屋



現在の社屋



第四地区に近接する生活を快適にする施設

長野市立図書館(長門町)

第四地区の諏訪町・県町に隣接の長門町にある。

所在地

長野市大字長野長門町1097-3

電話番号

026-232-3541

開館時間

平日 9:45～19:00

土休日 9:45～18:00

休館日

毎週火曜日、最終木曜日、年末年始等



長野市役所(緑町)

第一と第二庁舎からなり、市民芸術館が合築され、1～3階の連絡通路で行き来できる。

所在地

長野市大字鶴賀緑町1613

電話番号

026-226-4911

業務時間

8:30～17:15

休日

土曜、日曜、祝休日、年末年始



権堂商店街(権堂町)

第四地区の東隣に位置する長野県下最大の歓楽街。善光寺参りの精進落としての花街として発展した。昭和36年(1961年)に県下初のアーケードが設置され、それ以降権堂はアーケード通りと通称されるようになった。昭和30年、40年代は通りの両側に商店がびっしり並び、11月のえびす講大売出しなどのときは、通り一杯の人で溢れ、活況を呈した。現在も、商店が連なり、繁華街の賑わいを見せている。



写真上左／アーケード通り長野大通り側入口、写真上右／権堂
勢い獅子、写真下左／えびす講のアーケード通り、



生涯学習センター【TOiGO】(問御所町)

生涯学習センターは市民の誰もが生涯を通じて学習し、その成果を生かすことのできる生涯学習推進の拠点で、第四地区のすぐ東側に接しているTOiGO WESTの2階、3階。



信越放送本社【TOiGO】(問御所町)

大都市圏以外では日本で初の地方放送局として昭和26年(1951年)に設立された。平成17年(2005年)に当初社屋があった吉田地区から現在地に移転した。ラジオとテレビを送出する県下唯一の局として親しまれている。



長野中央病院(西鶴賀町)

第四地区の隣りの第三地区の西鶴賀町にある322床数の総合病院。

電話番号／234-3211

専門外来／内科、小児科、外科

診察時間／平日8:45～17:00、土曜日8:45～12:00

休 診 日／土曜午後、日曜、祝日



長野中央消防署(旭町)

第四地区のすぐ北隣の旭町に平成29年(2017年)に、鶴賀から移転新築された。水槽付きポンプ車1台、救助工作車3台、梯子車1台など、計14台の車両が配置される市内最大の消防署。



権堂イーストプラザ(権堂町)

権堂駅の長野大通りをはさんだ東側に、平成27年(2015年)1月に市民交流の場を提供し、市街地の活性化に寄与することを目的としてできた施設。第四地区住民自治協議会の事務局はこの1階に第一、第二、第三、第五地区住民自治協議会と同じフロアに所在している。



だいよんちくミニ情報① (通算⑤)

弥栄神社祇園祭は7月13日、14日に行われるが、それに先立ち、神をお招きする「天天下ろし」が行われます。神が下りてくるところは、第四地区の妻科にある八十二銀行研修所の西側にある「聖徳社」付近の大きな樺の木だったそうです。今はその木はありませんが、妻科の方が祇園祭の幟建てをしているのは、その縁なのです。

第四地区は閑静でありながら市街地にも近接した 憧れの住宅地でもあります

第四地区は古くは、北国街道（善光寺表参道）に沿った石堂町や後町などの善光寺町の一部が町場化した地区でした。明治7年（1874年）に旧長野県庁が西長野に置かれると、隣接する当地域も次第に市街地化し、第一地区の旭町、県町といった町が新たにできました。さらに明治21年（1888年）に、長野駅が開業し、長野市の市街地・繁華街は善光寺周辺から徐々に南進していきました。大正2年（1913年）に県庁が妻科へ移転すると、県庁を中心に県庁通り沿道が官庁街となる一方、中央通り沿道に商店が連なり、第四地区は住宅も密集していきました。

その頃の長野の市街地は県町通りを中心に、まさに第四地区に集約されていたため、例えば、詩人で有名な田中冬二は、銀行員だったために全国を転々としたが、昭和14年から住んだ妻科の何年間を「最も快適な時代」と言っています。この他にも「どこかで春が」の詩で有名な草川信、信濃の国の作詞者の浅井冽なども第四地区内に住んでいました。このように古くから、商店、官庁に勤める人々が住みたい街として第四地区に住み続けてきたのです。

第四地区は、商業と、公官庁と住宅が絶妙に調和する地区で、他地区の憧れの地区でもあるのです。





第四地区は新旧住民が共存する地区



町 名	総世帯数	マンション等世帯数	マンション等世帯割合
諏訪町	70	29	41.4%
西後町	514	494	96.1%
県 町	243	111	45.7%
南 町	305	199	65.2%
妻 科	755	256	33.9%
新田町	208	73	35.1%
合 計	2,095	1,162	55.5%

※総世帯数は平成30年9月1日現在の事業所を含まない一般世帯

※マンション等世帯数は事務局調べ

第四地区の総世帯数2,095世帯のうち、半分以上の1,162世帯がマンション等のいわゆる戸建ではない住居にお住まいの方々なのです。これは、ほかの地区を調べた数値がないので、断定はできませんが、かなりの高率だと言えるでしょう。

妻科と西後町は学生寮もマンション等世帯として世帯数にカウントしています。

率が最も低いのは妻科の34%ですが、学生寮を除くと23%となります。妻科は住宅地として古くから発展した土地であることから、昔から住み続けている方が多く、持ち家比率が高いため、まとまった広い土地がないことから、マンション開発があまりなされておらず、昔ながらの佇まいを残しています。

逆に率が最も高い西後町は、商店を中心とする町でしたが、大規模な商家から小さな商店への移行が進み、空いた土地にマンション、学生寮が建設されました。もうひとつの南町は明治時代にできた比較的新しい町で、企業、商店等が数多くできた町です。このため、西後町同様、バブル期以降の経済停滞期に撤退した企業、商店の跡地にマンションが建設されました。このように、第四地区の面積は小さいですが、古くからの住宅地と、新たにできたマンションが程よく調和しながら成り立っている地区でもあるのです。

長野県の中核とも言える第四地区は、長野駅前、権堂地区にも徒歩圏内でありながら、自然が豊かで、昔ながらの風情を残し、老舗の商店が営々と続く地区でもあるため、今でも多くの方が「住みたい」、「住んでみたい」と思ってくれる地区なのです。



あまり知られていませんが 第四地区は学生の街でもあるのです

後町小学校が閉校して以来、第四地区には小中学校が1校もなくなりました。唯一ある学校は長野商業高校だけというのが現状です。この現状に一抹の淋しさを感じていた方も多いのでは、と思いますが、よくよく観察してみると、第四地区には「信州大学あけぼの寮」と「長野県立大学象山寮」の2つの学生寮があり、寮で生活する学生は2寮合わせて約370名もいるのです。また、以前から地区内に実家があつて住んでいる、又は地区内の民間アパート等に住んでいる学生を合わせると、あくまでも推計ですが、約500名もの学生が住んでいるのです。これは**第四地区の人口2,700名に学生を加えた約3,100名の人口の15%強、何と6~7人に一人は20歳前後の若者、学生**なのです。

第四地区住民自治協議会は平成30年度に長野県立大学「象山寮」ができたのを機に、今後は地区内に住む学生と地域の皆さまが交流し、地域が元気になるよう、信大あけぼの寮、県立大象山寮の学生が主体となつて行う事業を、資金面で応援します。

ここからのページは、そんな学生さんを編集員の一員とし、感じたことなどを自由に書いて頂きました。

ここからのページは第四地区に住む学生
が執筆と撮影をしたものを掲載します

信州大学「あけぼの寮」

あけぼの寮長 宮原 勇人

第四地区の妻科に位置する我々が「あけぼの寮」は、男子44名、女子49名の計93名の信州大学教育学部生の2回生から4回生と大学院生が暮らしています。そんな「あけぼの寮」の楽しく、素敵な特徴について数多くの中から2つ厳選して紹介します。

一つ目は、寮生内の仲が非常に良く、上級生や下級生を問わず、交流が深いことです。寮生全員が集まることができる唯一の場所は「食堂」です。そこで1~2カ月に1回ほど行われる「親睦会」において、男女・先輩後輩問わず同じ釜のご飯を食べ、ともに一献傾けることで、普段の生活では打ち明けることができなかった本音や、話したくても話しかけることができていなかった先輩などと気を置くことなくコミュニケーションを取ることができます。

【次ページに続く】

さらに、12月の上旬の週末に、毎年行われる1年を通じて最大のイベントである「あけぼの寮祭」。そこで、男子は1階から4階までの各階が協力し、出し物を出したり、企画で優勝をめざしたりすることで、より一層全体の絆が深まります。このようにひとつひとつのイベントがあけぼの寮全体の士気を高め、友情を育むことができるのです。

二つ目は、地域との交流が深いということです。それを象徴するイベントとして、寮祭の企画である「餅つき」と「大ビンゴ大会」があります。そこで老若男女問わず、楽しくコミュニケーションを取り、交流することができます。

しかし、私はもっと地域との交流ができる機会を増やし、あけぼの寮が第四地区の中で濃い存在となり、「第四地区のあけぼの寮」ではなく、「あけぼの寮がある第四地区」と呼ばれるように、積極的な地域貢献・交流を行っていききたいと思います。

今後とも信州大学教育学部附属あけぼの寮をよろしくお願い致します。



「長野県立大学」を紹介します！！

こんにちは！長野県立大学一期生で、初代広報部長の学生の川向 思季(カムカイ シキ)です。

寮生のほとんどは長野市外から移り住んできた学生で、約半数は長野県外からの学生です。今まで長野市に住んだことがなかった新住民の目線で、第四地区のことや大学のことに加えて、新たに地域住民として、生活してみた感想や、「今後の夢」について紹介します。



“長野県立大学一般情報”

長野県立大学は2018年4月に開学しました。大学は三輪地区にある「三輪キャンパス」と第四地区にある「後町キャンパス」で構成されています。大学は「グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科:約170名」、「健康発達学部食健康学科:約30名」、「健康発達学部こども学科:約40名」の2学部3学科計240名で構成されています。1年目は全員後町キャンパスの「象山(ゾウザン)寮」で学生同士の繋がりを深めるとともに、地域との交流を活発にすることを目的に、1年間の寮生活を体験します。又、2年次の全学生は、海外で語学と専門分野の短期研修を行います。留学先は米国や、英国など世界各国の提携大学です。留学先は学生が選択します。



グローバルな視野を持ち、**起業家精神**を身につけて、**主に経営学**を学びながら、**ビジョンを実現する将来のリーダーを育成する目的の学科**です。2年次に「グローバルビジネスコース」、「**起(企)業家コース**」、「**公共経営コース**」の3つのコースを選択します。いずれも**地域との交流が大切なコース**です。



食健康学科

食を通じた健康のプロフェッショナルを目指します。そして英語力を高めながら、健康長寿を支える長野県や、日本の食文化の多様性を世界へ向けて発信していきます。地域の食の素晴らしさを伝えることで、地域の活性化にも繋がるコースです。全学生30名全員が管理栄養士の資格取得を目指します。



こども学科

1学年40名に対して15名の教員という密度の濃い教育で、こどもが育つ環境をトータルに考え、生涯にわたってより良い保育を創造できる保育者に育つ土台となる力を育てます。長野県は日本一の長寿県ですが、今後は地域密着型の保育教育の充実を図り、「先進的こども保育の長野県」ブランドができるように頑張ります。学生全員が保育士・幼稚園教諭の資格取得を目指します。



だいにんちくミニ情報②（通算⑥）

県庁東門から中央通りまでの道を「寿町通り」と言います。この道は大正2年に県庁が妻科にでき、中央通りまでの最短ルートとして作られましたが、その道の大部分は墓地だったので、仏の冥福と鎮魂の意を込めて「寿町」という縁起の良い名を付けたものです。

後町キャンパス

後町キャンパスは、旧後町小学校跡地に建てられました。キャンパスは全生が寮生活を送る「象山寮」と「CSI(ソーシャル・イノベーション創出センター)」及び「キッチンスタジオ」、「会議室・講義室」等から成り立っています。このうち、地域住民との交流を深めるCSIの活動は、2019年度から本格化する予定です。本格化後は地域との関係がより深まると思います。



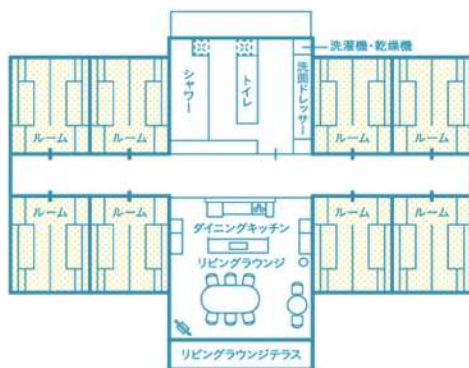
だいよんちくミニ情報

③(通算⑦)

後町キャンパスができた場所は御存知の通り、後町小学校があった場所です。後町小学校は明治6年(1873年)から平成25年(2013年)まで、140年にわたって第四地区内唯一の小中学校として多くの人を迎え入れました。

象山寮

1年生は全員「象山寮」で1年間を過ごします。基本的には2人1部屋で、8部屋16人が1ユニットとして構成されています。現在は、旧短大生も同居しており、約20ユニット約300名の寮生が住んでいます。寮内には全体で利用できるラーニングハブやレクチャールーム、キッチンスタジオ等の施設も充実しています。2年目からは寮を出て、長野市街地での生活をするようになりますが、その生活実態は一人暮らし、シェアハウス等様々です。2年生の約30名は寮の先輩(RA)として寮に残り、新寮生の新生活の助言やお手伝いをします。



後町キャンパス
象山寮ユニット平面図

象山寮生の活動

第1回“FUN”の開催 (The Festival of University of Nagano)

昨年初めての学園祭「FUN」を開催しました。まだ1年生しかいない新大学なので、全員が未経験だったこともあり、準備も運営もドタバタ続きでした。しかし地域の皆さまのご協力のおかげで何とか乗り切りました。来年はこの経験を生かし、「より地域住民との繋がり」を考えた構成にして、大いに盛り上げたいと思っています。



ながの祇園祭御祭礼屋台巡行への参加

ながの祇園祭御祭礼屋台巡行には、第四地区から新田町と西後町の屋台が参加しました。その屋台巡行に象山寮寮生が約80名参加し、それぞれの地域住民の皆さまと交流しました。学生と地域の皆さまとの交流は、NHKでも大きく取り上げられました。大学入学後の最初の大きなイベントということもあり、寮生同士が仲良くなるきっかけともなりました。



屋台巡行の途中での一コマ。
(写真上)金田一学長を象山寮
学生が囲んでいます。
(写真右)中央やや左側の紋
付・袴姿が横田第四地区
住民自治協議会会長(西
後町区長)で、満面の笑み
が印象的です。それを取
り囲むのが県立大学象山
寮の学生たちです。



寮生Kさんの独り言 『退寮後の住居×寮生』

昨年末、「中心5地区住民自治協議会」主催の、市長との“未来トーク”に象山寮の代表として私も参加し、意見を述べさせて頂きました。その中で、「私たち学生は市内に“学生の街”を創成し、街の活性化の協力をしたい」との主張は住民の皆さまの賛同を得ることができました。私たち寮生は2年生になると退寮しますが、市街地には学生が住みやすい住居が多くありません。そのため、学生が住めるシェアハウスプロジェクトを発足させました。最初はシェアハウス住まいで、その後独立して一人暮らしをすることを夢に持つ学生も少なくありません。住まいの確保に地域の皆さまのご協力をお願いします。



寮生T君の独り言 『地域飲み会×寮生』

おみこしを担いだ後の打ち上げ会みたいなものがあったら、友だちと一緒に参加したい！一人では知らないおじさん達とお金払って飲もうとは思わないかな？



でも、仲良くなれたら行くかも...話すのは楽しいけれど、酔っ払いに絡まれるのは嫌かな？楽しい話なら、聞きたいし、ボクもしたい！来年は20歳だから、それまではお酒は無理でも、お茶会なら参加したいです！



寮生Y君の独り言 『地域のお店×寮生』

長野県に住むのは初めてなので、どこのお店や病院が良いか判らないから、結局ネットで調べて有名なチェーン店に行ってしまう。特に整骨院は地元のおすすめを地域の皆さんに聞いてみたい。個人経営の人もネットをもっと使った情報を流してくれるとありがたいのですが....どんな情報を学生が欲しがっているか遠慮なく聞いて下さい！やっぱり地域交流って大切なな？

寮生A君の独り言 『地域住民×寮生』



お店のマスター達と仲良くなりたい！以前、寮の前でマスターに話しかけられてホックリした。でも、自分からは話しかけられないかもしれない。今は寮に住んでいるから近くで交流できるけど、引っ越してからは交流できる気がしない。一人で地域の行事に参加するのはチョッと厳しいかな？交流のチャンスを下さい！

今はインターン活動しているから、バイトはそんなにしなくてもいいんだけど、個人経営のお店でバイトしている。小さなお店なので、スタッフの人との距離が近くて楽しいよ！チェーン店ではできないことができたならバイトも楽しい！できればお給料は能力給で！授業の関係もあるので、直前でシフトが変えられるとありがたいのですが....

寮生Kさんの独り言 『バイト×寮生』



寮生Rさんの独り言 『地域観光×寮生』



寮生になって、**とりあえず**善光寺まで散歩しました。寮がある第四地区は市街地なので、イベントも多いし、楽しい！できれば自分もイベントに参加したいんだけど、どうすればいいんだろう？軽井沢には洋服の爆買い目的で遊びに行きます。スノボは白馬、飯綱、戸隠です。授業で小布施について学んだので、行ってみたい！山之内の有名な温泉にも行ってみたい！他にも長野市内に若者が楽しめる観光地があったら教えてください！

寮生Mさんの独り言 『地域の人×学園祭』

今のところ、地域の皆さんが参加できる仕組みがわからない。学園祭の企画に何があったら来て頂けるかを地域の人に聞きたいな。子どもたちや、高齢の方々もぜひ参加して欲しい。もっと飲食系とか、バザーとか、新製品の体験ブースや地域のお店も参加してくれたら楽しくなるかな？学生だけでつくる学園祭ではなく、「地域と共に創る学園祭」を目指したいので、**よろしくお**願いします。学園祭の企画情報を立案するには、**やはり**地域住民の皆さまと交流することが大切なのかな？



※これはあくまで県立大生の意見を抜粋したものです。
参考：長野県立大学公式ホームページ